

有機農業栽培指針

4 普及事例

平成 2 5 年 3 月

静岡県経済産業部

4 普及事例

1) 農業の郷づくり推進事業の取組成果

(1) 伊豆南地域有機農業推進協議会等の活動

1 普及のねらい

有機栽培野菜産地として発展していくためには、関係者との連携により、栽培面積を拡大し、特産物としていく必要がある。

そこで、有機農業志向者への支援や栽培技術の確立を通じ、伊豆南地域の環境に配慮した農業の定着を図る。

2 成果

(1) 有機農業の栽培技術の確立

伊豆南地域有機農業推進協議会では、有機農業の専門家による有機農業の研修会や、県内東部地区の有機農業実践団体との交流を通じ、技術の研鑽をしている。

(2) 新たな担い手へのアプローチ

南伊豆町吉祥の町営体験農園の指定管理者となり、農園利用者や家庭菜園実践者を対象に有機野菜の作り方講習会を開催し、新たな担い手の掘り起こしをしている。

また、「チャレンジ有機農業支援事業」により、研修生の受入と就農の支援をしている。

(3) 有機野菜の情報発信

南伊豆町内の料理人との連携により、試食会を開催し、町内外に有機野菜の魅力を発信している。また、「ふじのくに農芸品フェア」にも出展し情報発信を行った。



技術研修会



ふじのくにの農芸品フェア



野菜作り講習会



有機野菜試食会

3 担当機関

静岡県賀茂農林事務所地域振興課

4 普及事例

- 1) 有機農業の郷づくり推進事業の取組成果
- (2) 富士山麓有機農業推進協議会

1 普及のねらい

富士西麓に位置する富士宮市内には有機農業に取り組む新規就農が多い。平成 20 年 6 月に設立された「富士山麓有機農業推進協議会」は、平成 20～22 年度に県の有機農業の郷づくり推進事業を活用し、新規就農者を含めた有機農業者相互の交流活動を行っている。農林事務所では就農相談や協議会の一員として交流活動や加工品等の商品開発の活動を支援する。

2 普及の成果

- (1) 有機就農希望者へ参入促進のための相談体制を整備し、有機農業者が着実に定着している。平成 24 年度現在の協議会有機野菜グループ員は 17 人、栽培面積約 17.5ha。
- (2) 有機農業による食材が気軽に食卓に上がるような環境を目指し、農業イベントや援農、ほ場での現地交流会等により、積極的に消費者と交流し、有機農産物を PR している。
- (3) 農業者同士の仲間づくりができ、情報・技術交換が密になっている。平成 24 年度は東部や伊豆地域との交流会を開催し、有機農業者同士のネットワークが広がっている。
- (4) 生産物の有効利用・販売先の拡大と付加価値付けのため、加工業者と協力し、有機農産物加工品（トマトソース、うどん、味噌など）を商品開発した。
- (5) 有機農業を始めた人が最初に苦勞するのが販売先の確保であることから、有志メンバーでの共同販売に取り組む。
- (6) 大豆脱粒機、選別機の共同利用を行っている。



ほ場での現地交流会



就農希望者の研修

*協議会構成員

富士山麓有機野菜グループ員(有機農家 17 人)、和食花月、和田とうふや、マルサ食品、フジヤ漬物、富士市学校給食を考える会、富士宮市学校給食を考える会、富士宮市議会、富士宮市役所農政課、静岡県富士農林事務所地域振興課

3 引用文献

- 1) ホームページ「有機の郷づくり」 <http://fujisan-yuuki.com/>
- 2) 静岡県経済産業部（平成 23 年 3 月）もっと知ろう。しずおかの有機農業：22
- 3) 静岡県経済産業部（平成 23 年 3 月）もっと楽しむ。しずおかの有機農業：5

4 担当機関

静岡県富士農林事務所地域振興課

4 普及事例

1) 有機農業の郷づくり推進事業の取組成果 (3) 倉平有機農業推進協議会 (島田市川根町)

1 普及のねらい

島田市川根町倉平地区の茶園は、標高約 600m の斜面にあり、摘採期が遅く早場所の平坦地より販売面において不利である。そこで、冷涼で病害虫の発生が比較的少ない山間地の気候を最大限に活かした有機農業を地域ぐるみで展開し、有利販売の可能性を考えるとともに、環境にやさしい農業の産地づくりを目指す。

2 推進事業の成果

平成 20 年度までに、倉平地区の 3 戸の農家が有機 JAS 認証を取得した。味にもこだわる有機栽培茶の生産を呼びかけた結果、地域の荒茶製造業者と仕上げ茶製造業者が賛同し、それぞれの業者も有機 JAS 認定を取得した。このメンバーが中心となり、倉平有機農業推進協議会が設立され、有機農業の郷づくり推進事業に取組んだ。

有機栽培茶を地域ぐるみで生産しようと、実証展示茶園の設置、研修会の開催などに取組んだ結果、平成 22 年度には新たに 4 戸の茶農家が有機栽培を開始した。平成 25 年 1 月現在、地区の茶園面積約 8.5ha のうち約 5ha で有機栽培が行われている。

同協議会は、事業終了後も、先進地域への視察、茶園の相互巡回で先に有機 JAS 認証を取得した農業者がリーダーとなって栽培技術の習得を行っている。有機栽培茶の流通・販売の促進のため、地域の町おこし団体、旅行会社、観光施設と連携して有機栽培茶園での茶摘み体験などを実施し、PR 活動にも取組んでいる。



写真：協議会の設立 (平成 20 年 8 月)



写真：消費者へ PR お茶摘み体験



写真：地域へ PR



写真：倉平有機栽培茶
※(株)山関園製茶(島田市川根町身成)で販売している。

有機栽培実証茶園の設置

倉平有機農業推進協議会 (平成 20 年 8 月設立)

取組地域：島田市川根町葛籠(倉平地区) 取組作目：茶

参加農家数：6 戸 (平成 25 年 1 月時点)

取組面積：約 500a (平成 25 年 1 月時点)

構成員：農業者、荒茶製造業者、仕上げ茶製造業者(茶商)、
大井川農業協同組合、島田市、志太榛原農林事務所

県有機農業の郷づくり推進事業の実施：平成 20～22 年度

3 担当機関 志太榛原農林事務所地域振興課

4 普及事例

2) その他の取組成果

(1) 有機農業普及に向けた県民への啓蒙と就農サポート（東部農林事務所）

1 普及のねらい

県民が市民農園を通じて有機農業に触れる機会を増やすことにより、有機農業に対する理解を促進する。また、有機農業志向の新規就農規模者に対する研修や相談会を開催することにより、就農をサポートする。

2 普及の成果

1) 市民農園を通じた県民への啓蒙活動

三島市では山田川流域と佐野地区において市民農園が開設され、本農園の指定管理者である社団法人MOA自然農法文化事業団等が栽培指導を行い、利用者が有機農業の実践を行っている。さらに同市においては、一般市民を対象に栽培、収穫、調理、試食まで一連の体験活動を行う「チャレンジ有機農業」講座を開催し、好評を得ている。

2) 有機農業への就農希望者へのサポート

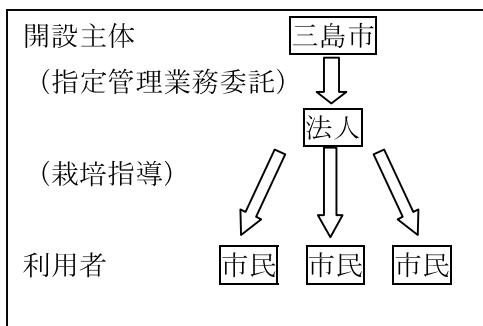
上記法人は自らの研究農場において、有機農業に関する短期、長期の研修を受け入れている。また就農希望者への相談会を開催しており、農林事務所、市関係者等が連携して対応している。就農への最大の課題は農地の確保であるが、耕作放棄地を紹介するなど県、市が協力し就農希望者へのバックアップを行っている。



三島市佐野市民農園



相談会の様子



市民農園の体系図

- ・ 農地をどのように探して、借りればよいか。
- ・ 手始めに何を栽培したらよいか。
- ・ どのように農業経営を行っていけばよいか。

就農相談会での主な相談内容

3 担当機関

静岡県東部農林事務所地域振興課

4 普及事例

2) その他の活動成果

(2) 富士山麓有機農業推進協議会による就農サポートの取組 (富士農林事務所)

1 普及のねらい

有機農業を本気で始めたいけど、経験がない…。有機農業について、もっと知りたい！学びたい！そのような将来仕事として有機農業を始めたいと考えている 18 歳以上の方を対象に、富士山麓有機農業推進協議会では平成 23 年 3 月から「有機農予備校」を開校している。

「有機農予備校」は協議会メンバーの地元富士宮市内の有機農業者が講師となり、年間 10 回の講座を開催し、本格的な研修や農業を始める前に有機農業とはどういうものか実際にまず体験してもらっている。

さらに有機農業を職業とする決意がかたまり、より実践的な技術を身につけたいという方は研修生として受け入れ、就農サポートしている。農林事務所では、市、農業委員会と連携しながら、就農計画の作成や農地の斡旋など就農を支援する。

2 普及の成果

体験コースは 2 つのコースから選択、受講料は 10 回分傷害保険料込みで 25,000 円。

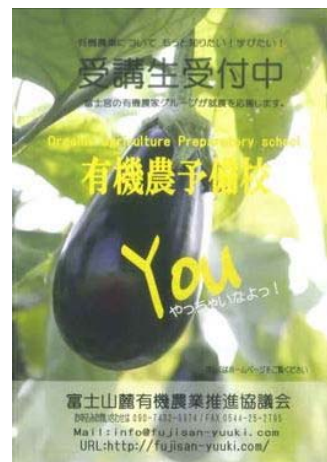
- ・合鴨水稲同時作コース 畑露地野菜栽培と合鴨水稲栽培を体験
- ・畑露地野菜コース 畑露地野菜栽培を中心に体験

有機農業の大切さや農業を始めるためのノウハウ、堆肥の使い方や雑草との付き合い方や栽培管理、道具の使い方など有機農業の技術を学び、受講者に就農の感触を体験してもらっている。

平成 23 年度第 1 期生は 17 人が参加し、平成 23 年 12 月に修了した。今年度は 11 人が受講し、そのうち 3 人が就農を予定している。



農地制度勉強会



有機農予備校のチラシ

3 引用文献

- 1) ホームページ「有機の郷づくり」 <http://fujisan-yuuki.com/>

4 担当機関

静岡県富士農林事務所地域振興課